

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 4113）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 10月20日（日）

さわやかな秋の季節に、テレビやゲーム機などのスイッチを切り、家族でスポーツに汗を流したり、読書に親しんだりし家族のふれあいを深めましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

「本を読む」を習慣に

千曲市社会教育委員 小林 いせ子

更埴・戸倉・更埴西中と市内の3つの図書館では、ここ数年児童室においてとても微笑ましい光景が見られるようになりました。親子連れの方々の来館が増え、さらに、楽しそうに読み聞かせをしている姿が多くなったからです。

千曲市では、生まれて7か月の赤ちゃんにファーストブックとして絵本のプレゼントをしていることはご存知でしょうか？5冊の中から1冊選んでいただき、お渡ししています。絵本は、楽しみながら親子の信頼関係を作る土台として、また将来の読書への足掛かりになるとも言われます。この絵本プレゼント事業が図書館へ足を運ばせ、多くの絵本に触れる機会になっているとしたら嬉しいことですね。

現在、千曲市では0歳から18歳の子どもたちを対象にした第3次子ども読書活動推進計画を立てています。1次から3次まで長期間社会の変化があるなかで、一貫した目的は「子どもが自ら読書に親しみ継続して読書を楽しむとともに、心を豊かにすることができるよう、家庭・地域・学校など社会全体で、子どもの読書活動を推進する」です。大人はそれぞれの立場で子どもたちの読書を見守ることが必要ということになります。家庭では「読み聞かせ」や「親子読書タイム」「ノーテレビデー」など、読書に親しむ環境づくりを心がける、また、子どもたちが多くの時間を過ごす保育園や学校などは、年間を通して読み聞かせや本の紹介、読書の時間を設けるなども効果的と思われまます。

さらに、小学1年生に本をプレゼントする千曲市の「セカンドブック事業」も今年で2年目になりました。絵本を読んでもらう側から今度は自分で本を選び、楽しく読むことができる年齢です。「本が一生の友達」になるよう、このような機会も大事にしつつ、生活の中に「本を読む」習慣を少しずつでも定着させていきたいものです。

～9月の補導委員会議より～

9月3日に、定例補導委員会が新庁舎にて開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 千曲警察署生活安全課より
 - ・屋代中学校付近での酔っ払い対応では、青パトとともに市民の方に対応していただいた。
 - ・この時期、一昨年は「声かけ事案」が連発したが、今年は少なくなった。しかし、不審者の事案もあり、巡回パトロールをよろしく願いしたい。
2. 「青少年の非行・被害防止強調月間」実施結果の報告
3. 7月末現在の声かけ認知状況について：千曲市は認知数4件。
4. 7、8月の補導日誌からの報告：酷暑の日が多く、子ども達は外で遊んでいない。
 - ・10月より、各駅近くの駐輪場が無料となり、駐輪の仕方を危惧されている補導員さんが多い。
 - ・学校の先生やPTAの皆さんとの合同補導では、「いろいろ教えて頂いて、ありがたかった」というご意見をいただきました。
 - ・「不審者が近寄りにくい地域にしたいとパトロールを実施しました」という報告もありました。
5. これからの巡回。11月は環境チェック活動2回、12月は定例巡回に含めお祭り(大頭祭)特別巡回も。
※11/5～11/11:環境チェック活動:抽出したお店に、青少年健全育成へのお願いや環境チェックに訪問。
11/14～11/20:必須店舗実態調査活動:カラオケボックス・ネットカフェ・書店・コンビニ・スーパー・ビデオDVD等の販売店に、年1回「青少年に有害な地域環境実態調査」のため訪問。



補導日誌から



笑顔いっぱい夏祭り(千曲夏祭り)

8月11日(土) 6:30pm～8:00

屋代駅に向かいながら夏祭り会場を見て回りました。暑かった昼は終わり、風が程よく吹いて気持ちのいい晩となりました。小さい子からお年寄りまで、たくさんの方が、屋台、イベント、広場を楽しんでいました。商店街の一部も開放され、何でも楽しめる会場でした。小さな子供には、エコポニーに乗れる広場が人気でした。相撲の終わった広場では、スティックを持って子供たちが走り回っていました。昼には中学校吹奏楽演奏、ダンス・パフォーマンスで賑わっていた会場は、信州ブレイブウォリアーズの選手紹介が行われていて人だかりが絶えず、盛り上がっていました。小桜広場では、神輿、神楽は終わっていましたが、綿あめは無料なので、列が絶えませんでした。スイカ割り、線香花火コーナーも人気でした。もう一度、会場内を一廻りしました。お巡りさんも来ていて、赤く光る棒状ライトが会場にマッチしていました。みんな楽しんでいて、気持ちよい活動ができました。

ちょっと心配な駐輪場

8月26日(月) 5:00pm～7:00

快晴で今までの30度を超える暖かさが消え、心地よい環境の中の補導巡視でした。10月より駐輪場での自転車が無料となり、置き場所も自由で、早いもの勝ちだとの事でした。放置自転車も屋代駅43台。屋代高校前駅8台と微増しておる中で、今後の状況がどうなるか、皆で心配しました。

児童館では3階で20名位の1・2年生が2～3人グループになり、テレビ、しょうぎ、トランプ、本などで楽しんでおりました。久しぶりに涼しくなったので、外で遊んだ児童もいたという事でした。

6:15分頃、行列で屋代高校附属中の生徒達が駅方面へ歩道を歩いている場面に出会いました。気持ちのよいあいさつをいただき、皆元気が出ました。

「平穏です！！」

8月27日(火) 5:00pm~7:00

小船山公園では、幼児の親子連れが2組、お母さんが「特に気になることはない。」「不審者の話も今年は聞かない」との話を話してくれました。砂地グラウンドに犬のフン落ちていたので処分しました。三本木公園では、小学生女子が4人で鬼ごっこして元気に走り回っていました。また、男子トイレの大便器内に多量のトイレトペーパーが流されずにありました。屋代駅では、駅員さんから「特に困ったことはないとのこと」「3年前には多目的トイレに男女高校生がこもっていた事案があったが、それ以降はない。以前、数人でたむろしていたこともあったが今はなく、平穏です」とのことでした。

涼しくなってきた

8月28日(水) 5:00pm~7:00

内川公園には埴生中学の男子3年生2名がバスケットボールのシュート練習をしていました。「遅い時間だけど？」と声をかけると、「涼しくなっていていい時だから」とのことでした。更埴中央公園には、うす暗くなってきたが、親子連れの幼児4組が遊んでいました。「やはり涼しくなったので連れてきました」とのことでした。他に、大学生男子1名・戸上中3年男子1名が、戸倉からきてサッカーをしていました。「この時間帯は涼しいから」との返事でした。

五十里公園・杭瀬下公園にはトイレを含め各施設・設備には特に問題は見あたらず、適切に管理されているように感じられました。

気持ち良く帰れたよ！

9月 5日(木) 4:00pm~6:00

屋代駅・屋代高校前駅の駐輪場の管理人さんの話では、両方無料になるが、無人にはならないとの事でした。屋代駅は、午前中有人。高校前駅は7:00~17:00までは有人。それ以外の時間は無人との事です。屋代中学校におじゃましました。中学生は部活中で、野球部全員に帽子をとって挨拶され、気持ち良く帰ってきました。頑張れ！！中学生。

地域の皆さんに支えられて

9月 9日(月) 4:00pm~6:00

稲荷山公園では、公園ボランティアの人が一人で水をくれています。人の手をかけてやることで、きれいできもちの良い公園になっていることに感謝。ボランティアの人も高齢化して、やる人も少なくなったとの事でした。

編集室の窓

「おなかの中の虫の声を静かに聞いてみませんか？」

涼しくなり、今回のコラム欄にあるように「読書」をする時期となりました。

読書というと、私は毛涯章平先生の『ふきのとうの餞別』の中の「白い虫と黒い虫」というお話が大好きで何回も読んでいます。短いお話ではありますが、心に残る文章です。

ある日、先生が学校の廊下を歩いていると、花がしおれていることに気がつき、鉢を日陰に入れてやろうと思い、下駄箱から靴を出そうとした際、「めんどうだな。このまま出てもいいや」「いけない。そこは上履きで出る所じゃない」という心の葛藤が描かれています。

『どうもおなかの中には、「白い虫」と「黒い虫」がいて争っているようです。』

そして、先生は、「いくつになっても、黒い虫が勢いのよい時がありますが、最後に、白い虫の方が、少し強かったという人生を送りたいと思います。」と書かれています。

日常生活を振り返って、自分も白い虫が少しでも強かったという人生を送りたいなと思いました。

秋の夜長、本を読むことで、日頃の自分を振り返ってみませんか？

※参照 毛涯章平著 「ふきのとうの餞別」より

子どもたちが、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子どもたちには夢がない、と言われていています。そんな子どもたちが、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「私の夢」「将来の夢」

- 私の将来の夢は、精神科医とスクールカウンセラーです。精神科医になりたい理由は、精神的につらい人を、少しでも楽にしてあげたいからです。スクールカウンセラーになりたい理由は、学校生活において悩みがある人の相談にのってあげたいからです。私は人の役に立つ仕事をしたいです。つらいと思っている人、悩みがある人の話を聞くことで、役に立ちたいと思います。(1年 谷地 璃子)
- 私の将来の夢は、社会に貢献する普通の社会人になることです。ちゃんと自分で働いて稼いで親に何かしてあげられる、そんなしっかりとした社会人になりたいです。普通の社会人になりたいと思っているのですが、できればファッションデザイナーになりたいです。私がファッションデザイナーになりたい理由は、この仕事は人を一番笑顔にできる素敵な仕事だと思ったからです。しかし、学年が上がるにつれて、ファッションデザイナーにはなかなかできないという厳しい現実や今の自分では難しいことも分かってきました。その事実が分かった上でも、やっぱりファッションデザイナーに憧れています。夢に少しでも近づけるように、できるだけ努力をしていきたいと思います。(1年 宮森 璃音)
- 僕の将来の夢は、ミュージシャンになることです。私の家にはずっとギターがありました。お父さんが高校生の時からギターを弾いて、ぼくが小さいころはおもちゃとしてめちゃめちゃ弾いていました。6歳になるとお父さんがコードを教えてくださいました。簡単な曲が弾けるようになると、もっとギターが好きになり、ぼくはミュージシャンになろうと決めました。今は好きな曲の楽譜などを見て練習しています。ぼくは指が短いので難しいコードを押さえるのが大変ですが、繰り返して練習しています。ミュージシャンになれるように頑張ります。(1年 角田 六弦)
- 僕の将来の夢は、ユーチューバーです。皆をたくさんの笑顔にしたいからです。僕は世界中のいろいろな国に出かけて、食べ物や景色、歴史を紹介して伝えたいです。そのために、中学校では英語や歴史の学習に力を入れていきたいです。これからどの教科もだんだんと難しくなると思います。けれども自分のために努力をしたいです。精一杯努力をして、周りのみんなに認めてもらいたいです。(1年 岡庭 蒼磨)
- 私の将来の夢は、トリマーです。私は動物が好きなので、動物に関係した仕事をしたいと思ってきました。動物に関わる仕事の中で、なぜトリマーがよいと思ったかというと、私の家の犬が初めて毛を切りに行ったとき、毛の切り方で犬の雰囲気が変わってくることを知ったからです。このことからこの仕事に興味をもち、仕事について本などでも調べて、この仕事に就きたくなりました。今は、トリマーになるための専門学校に進学したいと思っています。そのためにも自分に合った高校に進学できるように勉強を頑張っていきたいです。(1年 宮入 來那)